

令和元年度の田作り ～第13期大椎っ子田んぼ、第10期あすみっ子田んぼ 草取り(草ふみ)編～

令和元年の小学校田んぼの田作りの2回目の作業は、草ふみでした。稲たちが夏の盛りを元気に乗り越えて美味しいお米を実らせるためには、ライバルである草たちの影響を極力取り除いて、稲たちが十分に土の栄養を利用できるように加勢する作業が重要な役割をもつこととなります。子どもたちにとって、相変わらず不慣れな深い田んぼでの地道な作業でしたが、みんな元気に、楽しそうに勤しんでくれました。例により、多くの声を紹介するため、泣く泣く多くを文章の一部を割愛しなくてはならなかったことをお詫し下さい。

※ 今回の作業では草を取り除くのではなく、草を踏んで土の中に埋め込む方法を採用しました。草の勢いを弱めるとともに、土をまぜて稲の成長を活性化させる意図をねらったものです。

◎大椎子田んぼ(7月3日実施)

★アオミドロを取ったら初めはヌルヌルして気持ち悪かったけど慣れてきたらおもしろくなりました。1か月前に植えたのがとても生長しておどろきました。自然観察では、あまり見ないドジョウやコオイムシなどがいてすごかったです。今度の自然観察ではまだ見ていない生き物もみつけてみたいです。(A.T.)

★草ふみでは土はドロドロで虫がたくさんいた。もずくみたいなアオミドロをバケツに入れるときにとてもヌメヌメしていた。足をあらっているときにだれかが「アオミドロハンバーグ完成!」といった。草ふみのときに稲をみると、最初とくらべてとても葉が増え長さも上にのびていて成長をかんじられた。(T.W.)

★田植えからちょうど1月で少し水が温かくなってきていました。最初は田んぼに入るのがイヤだったけど、入ってみたらこの前のようにだんだん慣れてきました。草は足でふみ、どろの中にしずませました。田んぼの奥へ行ってみると、どんどん深くなっていき、アオミドロも増えていっていました。短パンまで田んぼの泥が付く位深かったです。アオミドロは手で取り除きました。自然観察ではオタマジャクシとカエルの間みたいなカエルがいました。色が普通のカエルみたいな明るい色ではなく、透明感のある薄黒い緑色でした。6月には見られなかったので、嬉しかったです。(M.H.)

★一ヶ月たって、稲がすごく大きくなっていました。アオミドロをさわったらすごい気持ち良かった。前よりもどろの温度が上がっていて暑かったです。みつおさん、たんぼぼさん、赤シャツ親父さんの説明がとても心に残りました。次からはもっとどろに慣れたりしたいです。自然観察では前よりもとても貴重な虫などがいて、とても面白かったです。(T.N.)

★事後的なイメージが脳にある田植え、今回もそうなるだろうと予想。草取りと言ってはいるのだが、ふんで土に埋めている。前回O氏が憎きタニシにやられましたよね。それ対策で筆者がやったことは。。。見かけ次第ぶん投げるといふ方法っす。(T.S.)

★草運びをしました。ミミズやカエルがたくさんいて、ふみそうになってしまいました。最後に自然観察をしました。すごく大きいオタマジャクシもいれば、足はあるけど体が小さいオタマジャクシもいました。タガメ(コオイムシ?)を初めて見ました。意外に可愛かったです。(T.Y.)

★田植えの時にいなかったヤゴを取れたのが嬉しかったです。けれど一つ疑問があります。私はオタマジャクシはもういなくなっていて、カエルがたくさんいるのだと思っていたのですが、まだまだオタマジャクシはたくさんいました。なので、オタマジャクシはどんな季節でもいるのかどうか知りたいです。次は草取り草ふみです。一本一本手でとっていくのだと思っていたのですが、ふみだけで終わりだなんてびっくりしました。ドロの感覚も少し気持ちよく感じてきました。次の活動が楽しみです。(M.O.)

★今回も自然観察でぜんぜんつかまれない(×)ガーン。けど生物はいっぱいいました～(～)イエーイ。草取りをしました、しかしそんな時!! 友達がはまった、あそこに、なんとまた。新聞係の人が「これは特ダネだ～!!」などと言っていました。生物はぜんぜんつかまられなかったけど楽しかったです。稲も生長していてうれしかったです。追伸) 女子がすごいクモ、オタマジャクシ、トカゲ、虫(こ)びびっていました。(Y.O.)



大椎子田んぼ・草ふみ風景

◎あすみ子田んぼ（7月9日実施）

★草取りは草を取るのではなく、草をふむ感覚でした。時々深いところがあって大変でした。私には次への課題は2つあります。1つ目は「ボランティアの人に感謝すること」です。私達5年生のために、たくさんの方が協力してくれました。2つ目は「おいしいお米をつくること」です。ボランティアの方々と一緒においしいお米をつくりたいです。そのために一つ一つの活動をけんめいに取り組みたいです！（R.K.）

★2ヶ月でこんなに雑草が生えるんだなと思いました。踏んで雑草をとるけど、足が動かなくなってしまったり、とても大変でした。だけど最後終わった後にもう一度みると、きれいになっていて、踏むだけでもぜんぜんちがうんだなと思いました。前回より深いところもたくさんあって大変でした、でも楽しかったです。（H.T.）

★私は見学だったけど、みんなが真剣な顔をして、協力して雑草を踏んで一人一人が頑張る姿を撮影しました。必死ながらもピースでこっちを向いて「とって！」と言ってきて嬉しかったです。私も次から頑張ろうという気持ちになりました。苗もたくさん大きく育ち、おいしいお米になれるようにがんばっているみたいでした。（Y.M.）

★どろにはまったりしてズボンがきたなくなりました。最初は浅くてどんどん進んで行くと深くなってきました。だから大変になりました。貝がいっぱいいました。友達と頑張ってたがりました。次の田んぼはカカシなので、面白いカカシをつくりたいです。（H.N.）

★前より非常につかれました。けれど楽しかったです。虫が前よりすごくいました。前より積極的に活動に取り組みました。びっくりしたのが前に植えた一本の苗が何本かに分かれていました。（R.N.）

★草取りだったので意外にかんたんかと思ったけど、実際やってみるとすごく深くてすぐ足がとられてしまいました。大変でした、でも田植えのやり方や草取りのやり方がよくわかり良かったです。8月21日にカカシ作りがあるので行けたら行ってみたいです。（T.O.）

★いろんな種類の雑草をみつけてふみました。雑草をふんだりとったりして、きれいなあすみ田んぼになりました。雑草にエネルギーが行かなくなったので、これから稲がぐんぐん育ってほしいです。（K.I.）

★「こんなに成長するなんて思っても見なかった」と思わず声にだしてしまいました。でも雑草がいっぱいはえていました。「がんばるぞ！」という気持ちで田んぼに入りました。深かったから歩きづらかったけど、なんとかできました。草ふみをした後田んぼを見るとスッキリしました。次もがんばろうと思いました。夏休み中にどのくらい育つのか楽しみです。田んぼは大変だけど、おいしいお米を食べるためにがんばります。（O.T.）

★始めどうやって田んぼの草を取るのか不思議で、一三組がやっている時かんたんそうに見えました。でも、自分が入る時、稲をふまないようにしようとしたら、ころびそうになったり、足がはまってしまったり、深いところに入ってしまった、とてもむずかしかったです。秋になったらもっと大変な苦労があると思うのでもっと頑張っておいしいお米を作りたいです。（M.K.）

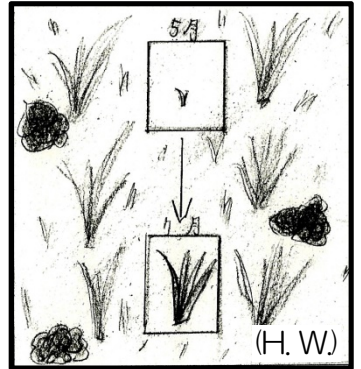
★前より変わっているかなと楽しみにしていて、田んぼを一周して近くで見たら植えた時より本当にめっちゃ大きくなっていました。土に足をいれた感覚は前と変わらなかったです。しっかりと雑草を踏んで、踏み終えてきれいになったなと思いました。もっとあすみ田んぼの稲がのびて、最終的にはおいしいお米を作りたいなと思いました。（R.Y.）

★すごくおどろきました。理由は5月の時よりもすごくのびていたからです。今日の草ふみががんばろうと思いました。次の時には今日よりもっと細かなところまで見ようと思いました。稲の観察では1本の稲は4本くらいになっていました。この後ぐんぐん大きく成長してほしいです。次に来る時が楽しみです。（N.W.）

★すごくおどろきました。5月に植えた稲を見たときは約5cmくらいだったけど、4倍くらいありました。田んぼの中に入って雑草を抜いたり、抜いたのを捨てて踏んだりしました。お米のために草をふんだり草を抜いたりするということを学びました。（W.K.）



(Y. M.)



(H. W.)



あすみ田んぼ・草ふみ風景

★うえた時よりももっといっぱい稲も生長していてなんだかうれしくなった。田んぼのなかにはとってもいっぱい生き物がいた。カエルが苦手なので、この田んぼを通して仲良くできるかな。と思ったが、やっぱりこわいので、遠くからみるだけになってしまった。どろはひざの上まで行って、最後の奥の方にくると動けなくなって、友だちに引き抜いてもらった。色々災難だったけど、楽しかった。次回が楽しみ。（K.F.）

★稲のまわりに雑草があるから、それを踏んだり、取ったりするのを班で協力してやりました。どろに足がはまったりひざのところまできたけど頑張ってはじまで行きました。おりかえす時も雑草がとれているかふんで確認しながら行きました。とても大変だったけど、これで稲がしっかりそだてばいいなと思いました。次田んぼをやるときに心をこめてやりたいと思いました。（K.O.）



里山たんけんレポート

第234回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2019年7月7日(日) 小雨

先ずは樹液の出ている木々を巡ってみました。雌のカブトムシがひとつ、カナブン、スズメバチの仲間、ヒカゲチョウがいる程度でした。その木の下には何に襲われたのかキシタバやムクゲコノハが数匹落ちていました。夜は蛾が活躍しているようです。ノシメトンボ、ナツアカネたちは雨を避けてかじっと林縁にとまっています。元気であちこちで見られたのはミスジマイマイ、コハクオナジマイマイなどカタツムリの仲間でした。エノキの葉ではヒメゴマダラオトシブミが、クズの葉の縁がぎざぎざに食われたところにはコフキソウムシが、ヨモギにはハスジカツオソウムシのカップルが見られたりしました。畦ではコケオトギリやミソカクシなどが小さな花を咲かせていました。4月下旬の気温という事で生きものの出現は雨と相まって今ひとつでしたがしっとりとした梅の谷津田の雰囲気を楽しみました。参加8名(大人6名、小学生2名、報告 網代春男、写真 平沼勝男)



第237回 下大和田 YPP「田の草取り」

2019年7月6日(土) 小雨・曇

梅雨の最中、小雨の中での田んぼの草取りになりましたが皆さん家族連れで参加してくれました。コナギ、ヘラオモダカ、オモダカ、イヌビエ、トチカガミなど田の中で急速に成長して来た草々を取り除きました。子どもたちお楽しみのお小川での魚すくい、小川の生きもの探しでは小川に入って魚捕りに挑みました。大雨の後のためか獲物が少なかったのは残念でしたがメダカ、フナ、タモロコ、ドジョウ、ホトケドジョウ、スジエビ、アメリカザリガニなどが捕えられました。それぞれの魚の特徴など解説を聞きました。参加35名(大人21名、小学生10名、幼児4名。報告 網代春男・写真 田中正彦)



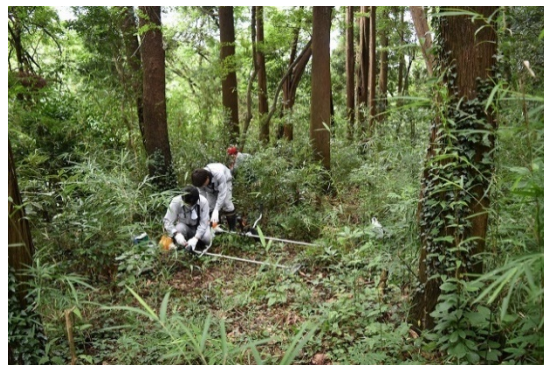
里山クラブ 森と水辺の手入れ

2019年7月21日(日) 晴

たくさんのボランティアの方々の参加があり数班に分かれて、林内の遊歩道周辺の草刈りと向かいの山林の下刈りをしました。向かいの山はしばらく手入れをしていなかったのが荒れていましたが、刈払機4台でひたすら刈りました。

ハチに刺された方があり、急遽病院へ駆けつけるなどのアクシデントがありました。大事に至らずはまりました。ハチの天敵は熊、黒い色に攻撃的になるといわれています。これからの時期、野外活動は黒い衣服は避けましょう。

参加23名(大人16名、専門学校生2名、高校生1名、中学生1名、小学生1名、幼児2名 報告 網代春男・写真 平沼勝男)



第177回 小山町 YPP「田の草取り」

2019年7月21日(日) 晴



キコガキダケ 撮影 たんぽぽ



カモの番に食べられてしまった所は、稲も草も無くつるりとしていましたが、稲が刈割りに育っている所は草がびっしりでした。時期的には遅いかもしれないけれど、苗はたくさんあるので、つるりとした所に捕植し、びっしり草がある所はできる範囲で取りました。

参加 大人6名 報告・写真 たんぽぽ

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月18日 ミズオオバコの花咲く。ニイニゼミ鳴く、夕方ヒグラシの声 (たんぼぼ)
7月29日 コシヒカリ (あすみ小)、YPP コシヒカリ、黒米出穂。(たんぼぼ)
7月31日 コシヒカリ (大椎小) 出穂。(たんぼぼ)

下大和田

- 7月11日 ヒグラシ鳴く。(網代)
7月18日 ニイニゼミ鳴く、オオムラサキ出現。(網代)
7月21日 ヤマコリ咲く。(網代)
7月29日 コシヒカリ出穂。(網代)



ミズオオバコの花 撮影 たんぼぼ

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト (YPP) のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先 (いずれも) : ちば環境情報センター (TEL&FAX : 043-223-7807 E-mail : hello@ceic.info/)

- ご注意 : ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

▼第238回 下大和田 YPP 「かかし作り」(8月10日)

▼第239回 下大和田 YPP 「コシヒカリ稲刈り」(9月7日)

- ・田んぼの守り神「かかし」を作って田んぼに立てます。
- ・稔ったコシヒカリ、農林1号を刈っておだに干します。

日時 : 2019年8月10日(土) 9時45分~14時 小雨決行
2019年9月7日(土) 9時45分~15時 小雨決行

場所 : 千葉市緑区下大和田谷津

集合 : 現地 初めて参加する方は駐車場や会場を案内しますので事前に網代(あじろ) 090-2301-0413 までご連絡ください。

交通 : J R 千葉駅 10 番成東あるいは中野操車場行き、ちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、徒歩5分で現地。<千葉駅発 8:25、8:40 など、所要時間 45 分> 料金 540 円

持ち物 : 弁当、飲み物、長袖・長ズボンの服装、着替え、帽子、軍手、敷物など。
(稲刈りは田んぼ用長靴)

(かかし作りはかかしに着せる不要になった古着、顔用に白い布など持参)

参加費 : ちば環境情報センター会員 300 円、一般 500 円 (小学生未満無料)、米作り年間参加は別途済み。

主催 : ちば環境情報センター 共催 ちば・谷津田フォーラム

▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内の下刈りや倒木の整理、畔や小川回りの草刈りをします。

日時 : 2019年8月18日(日) 9時45分~12時 ☆雨天中止

場所 : 千葉市緑区下大和田谷津 交通 : (同上)

集合 : 現地。初めての方はご連絡ください。(同上)

持ち物 : 弁当、飲み物、長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、敷物

主催 : ちば環境情報センター

▼第236回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

トンボの調査を兼ねています。

日時 : 2019年9月1日(日) 9時45分~12時 ☆雨天決行

場所 : 千葉市緑区下大和田谷津 交通 : (同上)

集合 : 現地 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

持ち物 : 筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。

参加費 : 100 円 (小学生以上、資料代など)

主催 : ちば環境情報センター、ちば・谷津田フォーラム



▼小山町 YPP

YPP の8月の活動はお休みですが、「学校たんぼかかし作り」を行います。

8月21日(水) 10時~12時 りんどう広場集合 (雨天の場合、予備日①8月22日(木)、予備日②23日(金))

■編集後記 7月29日、関東甲信地方がようやく梅雨明けしました。平年より8日遅かったとの事。梅雨寒が長く続いたこともあり、小山の小学校たんぼの稲の成長もあまり芳しくないところ、カモの番さんの食庄もあって収穫量に一抹の不安のある展開となりました。一方、8月はリバウンドとも思える猛暑のスタート! たんぼ作業は辛いですが稲たちの成長に期待したいところです。皆さんも熱中症には気をつけて下さい!! (赤シャツおやし)